

1950

さっぽろ雪まつりが始まる

雪捨て場として使われていた大通西7丁目広場に、市内の中高生が制作した雪像6基を展示。ドッグレースやスクエアダンスなど多彩な催しも行われた。1日のみの開催だったが、当時の札幌の人口の約6人に1人に当たる5万人もの人でにぎわった。



出典「創造 さっぽろ雪まつり40回記念写真集」

◀1950(昭和25)年撮影の雪像
▼スクエアダンスをする人たち



札幌市公文書館所蔵

1972

冬季オリンピックで世界に注目される



札幌市公文書館所蔵

オリンピック会場にも雪像を制作。雪像はテレビ中継で世界に放映され、雪まつりが世界に注目されるきっかけになった。雪まつりの開会式は、「ようこそ札幌」をテーマに掲げ、オリンピック参加選手を招待して行われた。

◀雪像「ガリバーようこそ札幌へ」の高さは25m。5トラック1,300台分の雪で制作された

1979

雪像を岡本太郎氏がデザイン

第30回記念となったこの年は、1970(昭和45)年に開催された大阪万博で「太陽の塔」をデザインした芸術家・岡本太郎氏に、雪像のデザインを依頼。岡本氏は雪像制作にも参加した。完成した「雪の女神」という名の雪像の周囲には、市民が制作した雪像が並んだ。

1983

すすきのが正式に会場となる



元々氷の祭典が行われていたすすきの地区が、雪まつりの会場に。飲食店やホテルの料理人たちが氷像を制作した。

◀2007(平成19)年撮影のすすきの会場

2013

プロジェクションマッピングを初めて導入



©HTB

雪像に映像を投影するプロジェクションマッピングを開始。雪像鑑賞の新たな楽しみ方として、恒例のイベントになった。

◀2020(令和2)年の雪像「ウポポイ(民族共生象徴空間)」

札幌の歴史あれこれ

No.09

【冬の一大イベントさっぽろ雪まつり】
今や196万人以上が暮らす街へと発展した札幌。ここでは、これまでの札幌の歩みを、さまざまな角度から見ていきます。
問い合わせ 広報課 ☎(21)2036

オンラインさっぽろ雪まつり2021 ～みんなで作る雪まつり～

企画1 さっぽろ雪まつり大歴史展
2/4(木)～28(日)に過去の雪像などをホームページで配信予定

本年は、感染症拡大防止の観点から、ホームページで楽しむイベントとして開催。下記の他にも、さまざまな企画を予定しています。

詳細 同実行委員会 ☎281-6400 [オンラインさっぽろ雪まつり2021](#) [検索](#)

企画2 写真投稿コンテスト さっぽろ雪フォトまつり
雪まつりや雪をテーマにした写真をホームページ、SNSで2/12(金)まで募集。写真は選定後、ホームページなどで公開。詳細はホームページを参照

※2021年1月号の「札幌の歴史あれこれ」で大倉シャンツェとして掲載した写真が、三角山の札幌シャンツェの写真と思われることが分かりました。おわびして訂正します。